

大塚製薬株式会社の事業適応計画のポイント

2022年12月21日

当社は、高崎工場において、太陽光発電設備を導入します。これにより、製造に伴って排出されるCO2を削減し、炭素生産性の向上を図ります。
また、板野工場において、太陽光発電設備及び各種チラー設備を導入します。これにより、製造に伴って排出されるCO2を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

1. 事業適応計画の実施期間

2022年11月～2024年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

高崎工場の炭素生産性を25.3%向上することを目標とします。
また、板野工場の炭素生産性を11.0%向上することを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

高崎工場に太陽光発電設備を導入することにより、炭素生産性を25.3%向上させることを目標とします。
また、板野工場に太陽光発電設備及び各種チラー設備を導入することにより、炭素生産性を11.0%向上させることを目標とします。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

〈太陽光発電設備を導入する高崎工場の外観〉



〈板野工場の太陽光発電設備設置場所〉

